

所沢市立富岡中学校だより 第11号

令和5年1月10日

松の風

明日を背負いて

住所：所沢市神米金404

電話：04-2942-0312

FAX：04-2942-5642

<https://tomioka-jh-tokorozawa.edumap.jp/>

生徒一人一人の自尊感情を高め、3年計画で自立を促し、未来への志を育む

新年を迎えて

あけましておめでとうございます。新しい年を迎えました。今年卯年、飛躍の年になるよう願っています。

「発明王」と呼ばれるトーマス・エジソンは生涯に1000を超える発明をしていますが、最大の特徴は、失敗を失敗とも思わない諦めの悪さにあったそうです。次のように述べていたそうです。「俺は運なぞ信じていない。幸運も不運もだ。たいていの連中は何回か試すと諦めてしまう。だが、この俺は、狙った結果が出るまでは絶対に諦めない。自分が不運だと思う奴らとこの私との違いは、ただそれだけのことさ。」と。

パナソニックの創業者である松下幸之助も同じようなことを述べています。「私たちの身の回りにある失敗というものの中には、成功するまでに諦めてしまうところにその原因がある場合が極めて多いように思います。今日、諦めてしまえば、明日の成功は、決してあり得ないのです。ひとたび、『志』を立てた以上、最後の最後まで諦めない。成功とは成功するまで続けることである。」と。結果が出ず、さっと身を引く人はスマートに見えます。しかし、誰もが諦めていく中、「あと1回」と粘る人こそが、最後の勝利を手にするようになるのです。松下幸之助は、次のようなことも生前述べています。「当たり前のことを当たり前にする、を徹底したこと」だそうです。「雨が降れば傘をさす」に代表されるように、ごく当たり前のことを当たり前に行おうというものばかりです。決して難しいものではありません。では、なぜ、多く人はそれを実行できないのか？ 当たり前のものは、当たり前すぎて飛びつきにくいからだそうです。目新しく奇抜な方法ではないため、人はつい「当たり前」を疎かにしてしまうそうです。人は何もなくても①強い気持ちを持ち、②日々地道に愚直(ぐちよく)に当たり前のことを徹底すれば、必ず未来を切り開くことができるという先人の教えです。

ここから、先生が学んだこと(感じたこと)は、当たり前という言葉に普通という言葉に置き換えて考えると、「普通(当たり前)のことを普通(当たり前)に行っていれば、普通以上になる。」ということでした。コロナ禍で大変な状況ですが、いろいろと学べるチャンスでもあります。新年を迎えリセットして登校している皆さん、新たなスタートです。

